

進化する「水なし印刷」

環境、スキルレス、品質向上がもたらす経営メリット

今、「水なし印刷」が高い評価を受けている。環境保護、品質の安定、スキルレス化がその特長だ。昨今の環境問題への関心の高まりも追い風には違いないが、版材やインキの改良、印刷機の性能向上、加えて「水あり」からの円滑な移行ノウハウの蓄積が普及を後押ししている。今回のユーザーは、福井県福井市のスキット株式会社(田村美津雄社長、従業員28名)。製版会社として創業して以来、顧客の要求に応えるなかで印刷・製本設備を導入し、現在では総合印刷会社へと変革を遂げている。同社では、平成19年に水なし平版印刷を導入し、FSC認証などの環境関連認証と合わせて「エコロジー印刷」の提案を開始した。スキットでは新規顧客からの問い合わせも多く、産業廃棄物やCO₂排出量の削減につながる印刷技術として「水なし印刷」が注目を集めていることを実感している。

スキットは、昭和48年に阪田製版センターとして創業。データ入力から印刷版出しまでを主に営業していたが、本機校正を希望する顧客の要望に応じて印刷機を導入するなど、しだいに事業領域を拡大し、平成3年に現社名となった頃には、プリプレスから印刷・製本折加工までをこなす総合印刷会社としてその存在感を示すようになっていた。

現在も顧客ニーズにワンストップで応えていくために、パートナー企業と連携したパネル製作や



正面玄関の「エコ印刷」ポスターの前で田村社長(左)、阪田課長

シール・ラベルなどの販促を事業に採り入れていたDMの発送代行業務など、デルベルクの活版印刷機

スキット (福井市) その11

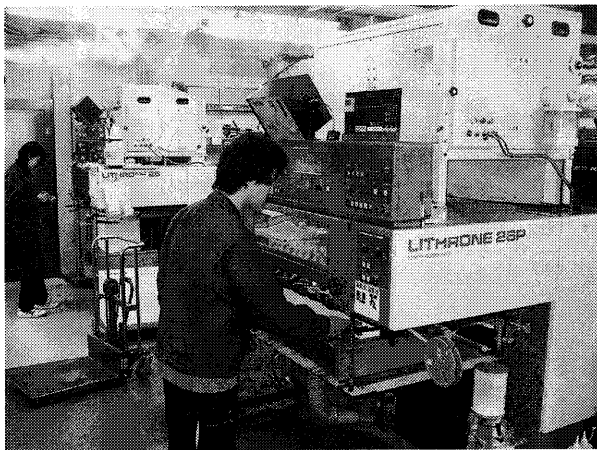
を改造した打抜機を導入し、内側にポケットの着いたカバーフォルダの受

数の印刷であることが多いが、問い合わせには原則として訪問対応し、Webからの問い合わせにも同様の方針を徹底。電話対応やWebだけに終わらない顧客との関係構築を目指している。

◆水なし印刷で若手育成と環境対応を推進

平成19年9月、それまで企画制作から印刷、製本までを軸として周辺領域に取り組んできたスキットは、水なし印刷を導入することで印刷の付加価値向上に着手した。

の決め手となったのは、水なし印刷の技術向上に



印刷機3台のうち2台が水なし・水あり兼用で稼働

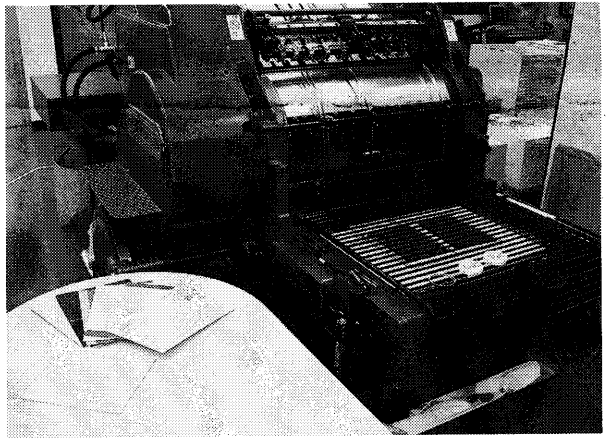
若手育成の材料として活用

「エコロジー印刷」で提案強化

注製造も開始した。田村社長は自社の強みは「顧客対応力と、根底にあるフットワークの軽さにある」と語る。平成17年以降、東京、大阪に営業所を開設し、県外からの受注も順調に伸ばしているスキットに、その原理や導入効果に関してすでに十分な知識があった。スキットにとって導入によって実現したスキルレス化は、若い社員はまだ水回りの調整ミスによるトラブルの発生などを防ぐための技術習得時間の短縮に重点を置いて導入が検討された。当時からすでにさまざまな要素をすべ

間が必要で、現在のようには小ロット多品種の仕事

では、十分な社員教育が



2月に導入した打抜機で自由度の高い加工を可能にしている

難しかった」と当時を振り返っている。

◆常に新しいことに挑戦し差別化を図る

また、「関東圏のお客様は、われわれよりも多くの情報を持っていることが多い。お客様とのコミュニケーションのなかで印刷会社に求められるニーズの本質を探り、地元福井での営業展開に役立てていきたい」と自社のネットワークを活用した事業展開に意欲を見せた。

導入までの間には、何社もの水なしユーザーを訪問し、印刷品質の安定化や現場管理のノウハウについて勉強した。導入してしばらくはインキが立つことによるベタ濃度の問題など、若干の戸惑いもあったが、インキの硬さ、印圧を最適化するなどによってこの問題を解決。スキットが提供する「エコロジー印刷」として本稼働になってから

常には、新しいものにチャレンジし、人財としての育成に力を入れる。このスキットの企業理念を高く、売上大きく貢献 実行に移してきた田村社長は、「中小企業はある程度特定の分野に特化した展開が求められているように感じる。企業がどのような分野に特化していくのか、そして特化した分野をツールとしてお客様にどのように活用していただくのか考えていかないと、継続的な発展は難しい。水なし印刷は弊社のこのような理念のもとに行われた新規事業展開の一環であり、今後は提案力を強化して、お客様にメリットを解りやすく伝えられるように努力していきたい」と今後の目標を示す。

印刷物製造加工を中心

は、水なし印刷指定の仕事がピーク時に印刷受注全体の60%を占めるなど、顧客からの注目度も高く、売上に大きく貢献

常には、新しいものにチャレンジし、人財としての育成に力を入れる。このスキットの企業理念を高く、売上大きく貢献 実行に移してきた田村社長は、「中小企業はある程度特定の分野に特化した展開が求められているように感じる。企業がどのような分野に特化していくのか、そして特化した分野をツールとしてお客様にどのように活用していただくのか考えていかないと、継続的な発展は難しい。水なし印刷は弊社のこのような理念のもとに行われた新規事業展開の一環であり、今後は提案力を強化して、お客様にメリットを解りやすく伝えられるように努力していきたい」と今後の目標を示す。

印刷物製造加工を中心